

高齢者安心・安全ネットワークやまぐち ニュース

令和4年4月22日 発行：高齢者安心・安全ネットワークやまぐち



若年ドライバーが運転

高齢歩行者被害の交通死亡事故が発生！

令和4年4月18日（月）午後0時52分頃、周南市大字鹿野下の国道上において、普通乗用車（20代男性運転）と道路を歩いて横断していた高齢者（80代女性）が衝突し、高齢者が亡くなる交通事故が発生しました。



ドライバーの皆さん

- 速度は控えめに安全運転に努め、道路を横断している歩行者などを早期発見！
- カーブを進行するときは、その先に横断歩行者がいるかもしれないと予測し、防衛運転！



歩行者の皆さん



- 道路を横断する際は、走ってくる車の速度に気をつけて、無理なく安全に横断！

山口警察署

高齢者安心・安全ネットワークやまぐち ニュース

令和4年4月15日 発行：高齢者安心・安全ネットワークやまぐち

高齢者が被害に遭う

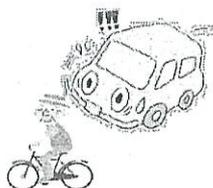
交通事故が連続発生！

～春の全国交通安全運動期間中の発生～

(実施期間 令和4年4月6日～4月15日)



令和4年4月6日（水）午後6時57分頃、下松市吉川町3丁目の市道上において、軽四貨物車と高齢歩行者が衝突し、高齢歩行者が被害に遭う交通事故が発生しました。



令和4年4月9日（土）午後4時15分頃、山口市阿知須の県道上において、普通貨物車と自転車（高齢者運転）が衝突し、自転車を運転していた高齢者が被害に遭う交通事故が発生しました。

ハンドルを握ったら前方注視！



運転に集中し危険を早期発見することで、交通事故は防止することができます。
道路を横断している歩行者がいた際は、横断を妨げないようにしてください。



前方はもちろん、周囲の安全確認もしっかりとしましょう。



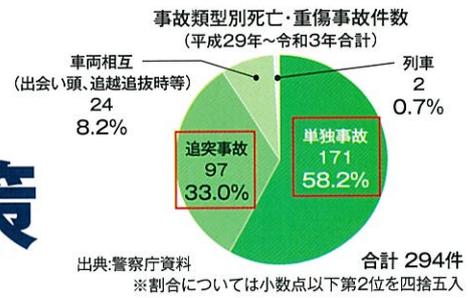
近くに横断歩道がある時は、横断歩道を利用！

周囲の安全確認や、横断する意思をアピールするハンドサインの実践をお願いします。

自転車に乗るときは、交通事故に遭った際の衝撃を小さくするために、大人も子供もヘルメットの着用をお願いします。

山口警察署

公道での農機による交通事故の要因と対策



事故発生の要因

公道での農機の交通事故は大きく分けて**単独事故**と他の車両からの**追突事故**の2種類があります。

単独事故

1.用水路等への転落

運転操作ミスや道路環境が悪いことにより、田畑や用水路等へ転落。

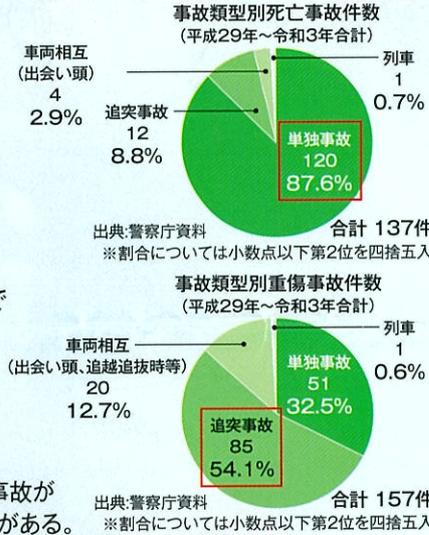
2.傾斜地での横転等

農機は通常の車に比べ重心位置が高いため傾斜地等でバランスを崩して横転。傾斜地等で自然に動き始めた農機にひかれる事故。

追突事故

夜間等における追突

夜間は後続車から農機が発見されにくく、追突事故が起こる。昼間のトンネル内でも追突事故の事例がある。



事故を防止するには

事故防止の対策

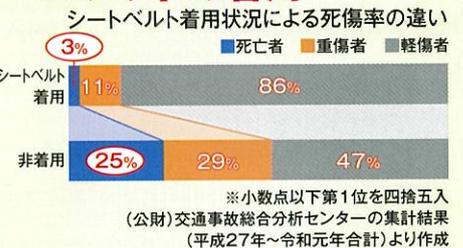
公道での農機による交通事故対策の**3つのポイント!** 対策と準備が重大な事故を防止します。

ポイント1 確実な運転操作とブレーキ連結の確認

農機による死亡事故は、ハンドルやブレーキ操作ミスによる単独事故が多いため、道路状況等に応じた確実な運転を行いましょう。道路走行時は必ず左右のブレーキを連結しましょう。農作業前後に道路上を走行する際は、ブレーキ連結をしていないと、ブレーキを踏んだときに急旋回して転落、横転する事故につながる恐れがあります。

ポイント2 安全キャブ・フレームの装着とシートベルト・ヘルメットの着用

救命効果の高い安全キャブやフレームが付いているトラクターを利用*しましょう(安全フレームは倒さずに使いましょう)。農機による交通事故においても、シートベルト着用の有無により死傷状況が大きく異なります。トラクター等の農機運転中は必ずシートベルトを着用しましょう。また、ヘルメットの着用にも努めましょう。
※車種によっては取り付けられないものもあります。



ポイント3 ランプ類や低速車マーク等の取り付け

一般車両との接触や追突を防ぐためには周囲に気づいてもらうことが大切です。「低速車マーク」や「反射板」を設置しましょう。また、作業機を付けて公道を走行するためには、基本的にランプ類の増設等が必要です。

